

前置胎盤(後壁主体)の発症機序;前置胎盤が深部子宮内膜症例に多いメカニ
ズムとして病変そのものでなくダグラス窩の子宮腸管癒着が関連するとした仮説
の証明
に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: (2020年11月6日) ~ 2023年12月31日

〔研究課題〕

〔研究目的〕

〔研究意義〕

〔対象・研究方法〕

MRI

MRI

MRI

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科 五十嵐敏雄

研究分担者: 八條隆汰、染谷拓郎、土田千尋、馬場聡、本城晴紀、足立克之、梁善光

所属: 帝京大学ちば総合医療センター産婦人科 住所: 市原市姉崎 3426-3 TEL: 0436-62-1211(代表)

〔内線 5109〕